

新年おめでとうございます。

皆様におかれましては、幸多き新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。昨年4月の初当選より9ヶ月が経過いたしました。9月県議会定例会では一般質問の登壇の機会を頂き、女性を取り巻く問題や教育の分野、本県が抱える農業・林業の諸課題などを取り上げさせて頂きました。積極的に利用拡大に向けて取り組んでいくというご答弁を頂いたものもあり、前向きなご答弁が多く、今後に期待しているところでございます。あらためて、女性のきめ細かい視点が県政の場で生かされていくことに感謝を申し上げ、それぞれの地域、静岡県の発展に寄与できますよう議員活動を続けてまいりたいと思っております。皆様から託された思いをしっかりと受け止め、今後も県政の諸課題について、より深く掘り下げ、取り組む所存でございますので、変わらぬご指導、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。また、本年も皆様のご健勝でご多幸でありますよう、心からお祈り申し上げます。



心でふれあうまちづくり

Heart of Life!



Kazuko Ito

静岡県議会議員いとう和子

いとう和子の活動報告



11 / 7 「世界お茶まつり2019秋の祭典」開会式 (静岡市 グランシップ)



8 / 6 授産品サマーフェア (静岡県庁内)



10 / 16 函南町災害ボランティア参加 (静岡県 函南町)



10 / 21 ふじのくに交流会 (東京 京王プラザ)



11 / 1 森のまつり開始宣言式 (森町三島神社)



11 / 10 「袋井市ふれあい夢市場」開会式 (袋井市 メロープラザ)



11 / 24 袋井市総合体育館「さわやかアリーナ」落成式典 (袋井市)



11 / 8 治郎柿原木収穫感謝祭・次郎柿ワイン完成祈願祭 (新東名 森町 PA 上り)



11 / 17 「もりもり2万人まつり&農協祭」オープニングセレモニー (森町文化会館)



9 / 1 わかふじスポーツ大会 (静岡県草薙総合運動場)



12 / 8 「第31回 袋井クラウンメロンマラソン」開会式 (袋井市 エコパスタジアム)

令和元年9月定例会 一般質問 9月25日(水)



Q1 森林認証材の利用拡大について

森林認証材は県産品のアピール力を高め、他産地との差別化を図ることが可能となることから、販売戦略の一つに取り入れることで、県産材の利用拡大を図り、地域の活性化に繋げる有効な手段になると考える。しかし、森林認証材の利用拡大に向けては、森林認証制度の認知度の向上を図る普及啓発が必要であり、県民や企業に対して制度の周知が不可欠である。

県は、森林認証材の利用拡大に向けて、どのように取り組んでいくのか伺う。

A1 知事答弁：認証材の利用拡大には、制度や使う意義の周知が不可欠であると認識している。

今年度は、木材関係団体などで組織する「ふじのくに木使い推進会議」において、環境への配慮に積極的な企業を招き、SDGsに寄与する認証材利用の意義を共有するとともに、利用事例や調達方式を紹介し、社屋の建築やオフィス家具などでの認証材の利用を働き掛けていく。県として、認証材利用の意義については、県民の皆様や企業の方々の理解を促進し、利用拡大を図っていく。



イメージ



森林認証材 利用施設例

Q2 小規模市町の持続可能な行政経営への支援について

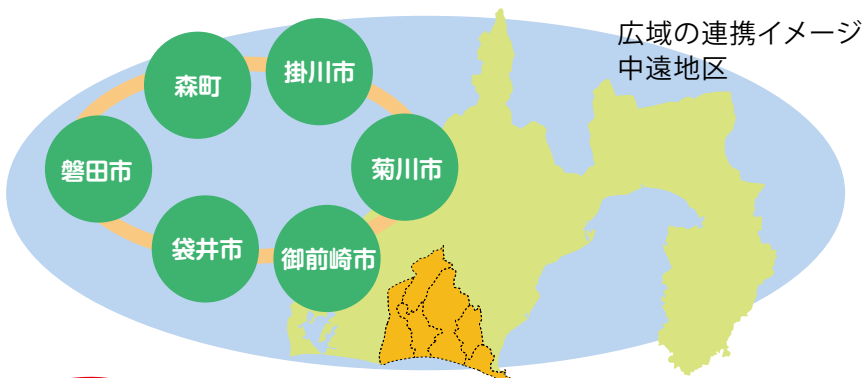
小規模市町が今後、持続可能な行政運営を続けていくためには、単独で難しい部分は多様な主体との連携で乗り越え、広域の連携を加速化させる必要がある。

広域自治体である県として、このような市町に対して、どのようにして持続可能な行政経営の支援に取り組んでいくのか伺う。

A2 吉林副知事答弁：県では、市町の要請に応じて、技術職員や広域行政に精通する職員の派遣を行っている。

各市町の目指す姿に応じて、庁内関係部局や地域局の出先機関が、専門的知識や現場の実情を踏まえて助言、協働するなど、今後も各市町の地域活性化の取り組みを積極的に支援していく。

引き続き、行政経営研究会などの様々な取り組みを通じて、小規模市町の持続可能な行政経営を積極的に支援していく。



広域の連携イメージ
中遠地区

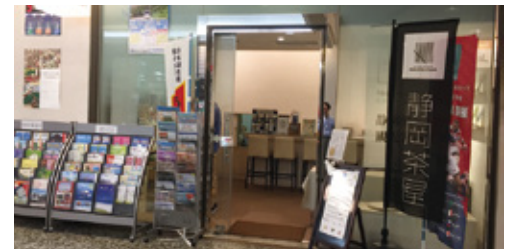
Q3 静岡県東京観光案内所の効果的な活用方法について

静岡県東京観光案内所は、有楽町の駅前という立地条件にも関わらず、来店者が年間約3万人、1日約80人では極めて少ない。早急に時代のニーズに対応した形にしていくべきである。今後の東京観光案内所の効果的な活用方法について、また、現在検討を進めている首都圏のマーケティング拠点「ふじのくにショールーム」開設後の継続の有無について伺う。

A3 文化・観光部長答弁：今後は県内市町や観光協会等に利活用を働き掛けるなど、多くのお客様にぎわうよう取り組んでいく。

また、インターネットやスマートフォンの普及により、観光情報の収集手段のデジタル化が進み、首都圏での効果的な情報発信の在り方について検討する必要がある。

今後については、経済産業部が検討を進めている「ふじのくにショールーム」と合わせて、県内市町や観光関係団体等のご意見も伺いながら、東京観光案内所の最適な在り方について検討を進めていく。



静岡県東京観光案内所

Q4 結婚支援の推進について

合計特殊出生率の低下要因として、未婚化・晩婚化が上げられている。結婚は個人の価値観によるところが大きく、行政や企業が立ち入ることは、価値観の押し付けやハラスメントに繋がるデリケートな意見もある。しかし、結婚に憧れる人が、家庭を持ち、子どもを生みたいという希望を叶えることができれば、個人はもとより、人口減少に悩む自治体や労働力不足、消費拡大に悩む企業にとっても歓迎すべきことであり、ウィンウィンの関係になるのではないかと考える。

県として結婚支援にどのようにして取り組んでいくのか伺う。

A4 健康福祉部長代理答弁：現在、県内では、市町や民間事業者が出会いの場を提供しているが、イベント的で、その後のフォローが十分に行えていないといった課題があるという。

茨城県や兵庫県では、県が市町、関係団体などとの連携の下、結婚支援センターを運営し、成果を上げており、センターの複数設置やマッチングシステムの導入など、会員の利便性の向上に工夫を凝らしている。

県として、今後、県内での出会いの場に関する取り組み状況を詳しく調査して、その成果と課題を把握するとともに、他県の好事例について研究し、市町や企業と共に、結婚を希望する人がその希望を叶え、安心して子育てができる環境の整備に取り組んでいく。



イメージ

その他の質問

○ふじのくに美農里プロジェクトを活用した地域農業の活性化について（農林水産担当部長答弁）

○今後に向けた小中一貫教育の取り組みについて（教育長答弁）

録画中継

「静岡県議会インターネット中継」で検索して頂きますと、今回の一般質問の録画中継がご覧になれます。



是非ご覧ください！

WEBサイト、SNSなどでも活動報告をいたします。



kazuko-ito.com



いとう和子事務所



いとう和子事務所

お近くにお越しの際は、是非お立ち寄りください！
〒437-0215 静岡県周智郡森町森1717-1 クリエイト2階
TEL 0538-31-2901 FAX 0538-31-2902